



ゼロから創る奈良

奈良市長

2016.4.10 Vol.75

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

揺れる3月議会、新斎苑予算は減額修正

3月の定例市議会では、通常の本会議や委員会に加え、新斎苑の集中審議が別途一日設けられる等、まさに「新斎苑議会」となりました。災害リスクや地元合意、また議員有志による対案等、様々な論点が出されましたが、最終的には市から提出した関連予算の大半が削減される結果となりました。

まず災害リスクについてですが、計画地が土砂災害警戒区域に入るのでは?という指摘がありました。しかし、実際に施設を建設する場所は地盤も硬く区域に該当せず、さらに必要に応じて予防的な安全対策を講じることでクリアできます。また、住民集会での質問を受け、地すべりや土石流のリスクについての追加調査を行った結果、専門家からは「影響は想定しにくい」との評価を得ました。さらに計画地内に保安林があると建設できないのでは?という趣旨の質問もありましたが、仮に用地の一部がかかっても、保安林を避けたレイアウトにする、もしくは保安林自体の解除も可能なため、何の問題もありません。(そもそも日本の森林面積の約

半分が保安林です)なお議員有志からの「対案」については、最終的に正式な提案は出てきませんでした。

前号でも触れましたが、今回の計画は、昭和30年代から歴代市長が候補地を探す中で、地権者の同意や面積、各種規制や近接住居(250m以内に住居がない)、また市街地からの距離等の要件で市内全域から絞り込みをかけた中で、最終的に選定した経緯があります。つまり、仮にこの計画地がとん挫すれば、今後市内で実現可能な場所を探すのは極めて難しいと言えます。また、総事業費約57億円のうち、約22億円を予定している国の財源を得るには、平成32年度末の竣工が必須条件です。逆算すれば、今年度には都市計画決定や事業認可手続き、用地取得に着手しなければ間に合わない恐れがあり、その結果市が巨額の財政負担を背負うこととなります。厳しい状況ではありませんが、まずは地元のご理解を頂けるよう、引き続き交渉にあたらせて頂く所存です。

2016年5月14日(土) 10時~11時30分 「拡大」市政報告会 開催! 詳細は裏面へ

仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1
FAX:0742-26-0398

市政の動きやmanifestoの進捗状況など、最新情報は
ツイッター、ブログにて更新中!

ボランティア
募集中!

Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして、世界から尊敬される奈良をめざす。三児(6歳・4歳・1歳)と妻の5人家族。中核市市長会会長。AERA「日本を立て直す100人」に選定。現在二期目。

活動報告

[16年1月~2月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

1月9日(土) リニアで木津川市と連携



京都・奈良の県境にあるイオンモール高の原で河井規子木津川市長と「リニア奈良市駅」誘致をPR。歴史的なつながりに加え生活文化圏も近く、今後様々な分野で連携を進めます。

1月26日(火) 一条生、企業とコラボ



全国レベルの活躍で知られる市立一条高校ダンス部が靴専門店「チヨダ」とコラボ商品を開発。LEDで靴底が七色に点滅するという高校生らしい斬新なアイデアに驚きました。

1月27日(水) 急増する外国人に対応



奈良を訪れる外国人観光客に対応するため、市内の観光事業者を対象にイスラム教徒への食の提供について講演と実習を実施。真の国際観光都市としてレベルアップを図ります。

2月7日(日) 大規模災害に備え訓練



災害派遣医療チーム(DMAT)と精神医療チーム(DPAT)が奈良市消防団と合同で行う本格的な訓練を実施。全国でも例のない取組みに大勢の関係者が視察に訪れました。

2月10日(水) 珠光茶会、今年で3回目



東大寺での表千家のお茶会に、池坊次期家元の池坊専好さんがお越しになりました。村田珠光も千利休も池坊に華を習いに来ていたそう。茶道が総合芸術たる所以です。

2月25日(木) 塩崎厚労相へ提言



中核市での児童相談所設置を進める児童福祉法改正に関連し、中核市市長会の会長として政府への提言活動を実施。専門職と財源の確保をしっかりと担保するよう要請しました。

はじめての巣立ち、大半が市内で就職

3月3日、市立看護専門学校の初めての卒業式が行なわれ、3年前に入学した1期生40人が学び舎を巣立ちました。恒常的な看護師不足に対応しようと、自前の養成機関の設置を判断したことが、つい先日の事のように。県内の看護学校を卒業した学生の多くが県外へ流出するという課題が度々指摘されていますが、本校では40人の卒業生のうち県外就業はわずか3人で、大半が市内に勤務する予定です。使命感に溢れた卒業生の前途洋々たる未来を祝します。

待機児童解消に向けて

今年に入り、とある東京都の正社員休職中の女性を書いた、待機児童についてのブログ記事が話題になり、国会で議論されました。保育園に入園できず、復職ができなかったという内容です。待機児童の問題は、国を挙げての課題です。その中で、奈良市では西大寺地区に2つ、新大宮地区に1つ、新たに3つの小規模保育事業所をオープンしました。引き続き、待機児童の解消を市の最優先課題と位置付け「若者たちが帰ってきたくなる街」の実現に向けて奮闘いたします。

「拡大」市政報告会 参加費:無料

テーマ:「どうなる?どうする?新斎苑」

市政の最重要課題である新斎苑事業。この3月議会では、議会の各会派の考え方や動きにも注目が集まりました。賛成・反対の論点と、今後に向けた展開を市長自らがお答えします。

日時:2016年5月14日(土) 10時~11時30分

場所:奈良商工会議所大ホール 定員:150名
〒630-8586 奈良市登大路町36-2

お申込み方法:下記のEmailアドレスまたはFAX(0742-26-0398)にて郵便番号・住所・ご氏名・電話番号・メールアドレスをご記入の上、お申し込みください。